

◎この先も新型コロナウイルス感染拡大予防で大変な状況ですが、ちょっと面白い話をご紹介します。



6月は何故祝日がないのか？



2016年以降、日本では6月が祝日のない唯一の月となっており、また、過去にも6月に祝日が存在したことはありません。

理由は、天皇家由来の節目の日がない。庶民の生活も農繁期で忙しくハレの行事がない事も影響しています。

あの有名な「ドラえもん」では、ドラえもんの四次元ポケットから「日本標準カレンダー」という秘密道具をだし、祝日を設定するエピソードがあります。のび太が6月に祝日がないことに対する不満から6月2日を「ぐうたら感謝の日」と制定。ジャイアンは6月13日「昼寝の日」15日「ジャイアンの日」と制定。これはあくまでも架空の話ですが、実際、6月に祝日を制定する動きもありました。理由は労働者の過労死が6月に多いとの事からです。ただし、この事は諸外国より祝日が多いなどといった様々な理由から制定する事は現実的ではないようです。

6月に入り、梅雨入りしジメジメとした季節になりますが、雨の似合うアジサイが見ごろの季節でもあります。1年の折り返し地点と考え、半年間で疲れた心と身体を休め、休日を休日としてゆったりとした時間をとり、家族と過ごす時間にしてはみてはどうでしょうか。



「新型コロナウイルス感染予防もしなければならない状況ですが、

これからの時期、「食中毒」に注意しましょう！」

1 食中毒菌をつけない

- こまめに手洗い
- 肉屋魚を触ったら、しっかり手洗い
- 調理していない魚や肉は他の食品と分けてふたやラップをして保管
- 肉・魚専用の包丁・まな板を用意

2 食中毒菌をふやさない

- 調理後すぐに食べる
- 食品は冷蔵庫に保管する
- 食品を長時間室温に置かない

3 食中毒菌をやっつける

- よく加熱する
- 器具は台所用漂白剤や熱湯で消毒する

～ 編集後記 ～

これからは梅雨にはいります。実は、湿度の高くなるこの時期から脱水症状が増えます。理由としては、ものすごく暑いわけではないですが、汗をかきます。しかし、夏ではないのでついつい水分を忘れがちになります。

夏に向けて免疫力をつける季節でもあります。体調を崩さずに過ごしましょう！